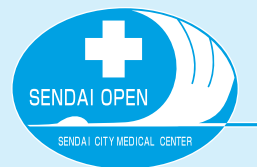


# れんけい renkei



公益財団法人仙台市医療センター仙台オープン病院 地域医療連携室

〒983-0824 仙台市宮城野区鶴ヶ谷5丁目22-1  
TEL:022-252-1111(代表) FAX:022-252-1126(連携室直通)  
URL:http://www.openhp.or.jp e-mail:renkei@openhp.or.jp

vol. 70

## 【仙台オープン病院 理念】

思いやりのある心で信頼される優れた医療を提供します。

平成 30 年 10 月 10 日(水)東北医科薬科大学医学部法医学教室 教授 高木 徹也先生をお招きしました。「法医学の実務は、解剖だけでなく社会で生じる様々な問題の医学的判断や鑑定」とコメントをいただき、「法医学の業務の紹介と日本における社会医学的問題点」についてお話しをいただきました。

高木先生のわかり易く軽快なトークで会場は盛り上がり、参加された登録医の多くの先生方から「とても良かった」と好評をいただき、盛況のうちに終わることが出来ました。(地域医療連携室)

## 仙台オープン病院 登録医会秋季勉強会

### 法医学の紹介と日本における 社会医学的課題

平成30年10月10日(水)午後7時~(仙台 勝山館)  
東北医科薬科大学医学部法医学教室 高木 徹也



東北医科薬科大学は、東北地方の医師不足解消、地域医療を支える総合診療医の育成、震災からの復興を目的として、それまで薬学部単科の大学に医学部を新設して創立された大学です。医学部としては、琉球大学設立以来、37年振りの新設ということになります。

一方で、法医学は医学の分野では衛生学や公衆衛生学と同じ社会医学に分類され、死因究明や鑑定を目的とした法医解剖を中心とした実務を行っております。当大学でも法医解剖施設が完成し、平成 29 年 4 月から宮城県や海上保安庁等からの依頼による解剖を開始しました。それまで宮城県では東北大

学 1 校で行われていた解剖業務を分担することで、東北大学の負担を軽減するとともに、2 校に分担したことによる公正・中立性が高く評価されております。大学設立時は医師 2 人で業務を開始しましたが、その後、薬剤師 1 人、技術職員 1 人が加わって計 4 人となり、年間約 150 件の解剖を滞りなく行うことが可能となりました。解剖業務以外には、これまで解剖で培われた医学的知見を利用して、生体鑑定や画像鑑定などを行い、刑事事件や民事事件、労働災害認定、保険金請求等の案件における病態生理学的判定や成傷機序の鑑定などを行っております。ただし、日本では解剖や鑑定を行うことができる法医学医師は約 150 人、東北地方では 10 人程度しかおらず、法医学医師 1 人にかかる負担が増大している現状にあります。実際の鑑定は、主に医学一般的知識を持って病態生理や成傷機序を解説することが主要となっておりますので、ぜひ臨床の先生方にも鑑定業務へのご協力をお願いしたいと思います。

教育面においては、法医学的知識だけでなく、設立目的である地域医療に貢献できるように鑑別診断の精度向上、震災の伝承などを中心として学生に講義や研修を行っております。日本は超高齢社会となり、特に高齢化が如実に進行している東北地方では高齢者への充実した医療が急務となっております。中でも予防医学向上のためには傷病や死因の統計学的解析が必須ですが、現在の日本の統計は他の先進国に比べて精度が低いのが現状です。死因判断などの法医学的知識を理解していただいて統計の精度を上げ、更なる予防医学の向上に役立てていただきたいと思います。日々診療でお忙しいとは思いますが、超高齢社会への対応、地域医療の充実を図るためにも、今後とも多種専門分野間での医学的交流をお願い申し上げます。



〒983-0812 仙台市宮城野区小田原弓ノ町100-1 4F

ここ数年間、当院の受診者層に奇妙な変化が起きています。社保の保険証を持つ受診者が年々増加し、国保の方は逆に低下しています。ご高齢の慢性疾患での受診者が減って、急性疾患の受診者が増加しているのです。やがて、この謎が何となく解けてきました。

当院は、国道45号線沿いの宮城野区小田原に位置します。ちょうど仙台駅東側再開発事業の北側の縁に相当します。再開発によって、仙台空襲の被害を免れた木造家屋が次々と新築マンションに置き換わっています。私が校医をしている榴岡小学校では、プレハブの教室を急遽増築するほど学童が増えており、若い世帯が急増しているのです。



当院は、アレルギーや呼吸器疾患を中心に診療しています。現役世代の風邪での受診者が多いのですが、その中には咳が2～3週間以上長引いている人も少なくありません。腫瘍や結核を含む器質

的疾患を除外できれば、咳が長引いている人の多くは、結果的に吸入ステロイドに頼ることで改善していきます。ステロイドの乱用みたいに思う方もいるでしょうが、吸入ステロイドは呼吸器の特殊性に由来する炎症をうまく抑制すると思っています。つまり、肺や気道系の内部は、外界と接していますので、微生物などの異物の侵入者と絶えず小競り合いをおこなっているでしょう。皮膚のさまざまな炎症にステロイド外用剤が有効であるように、気道系の炎症に吸入ステロイドが抗炎症効果を発揮するのでしょうか。吸入ステロイドは、困った時の打ち出の小槌みたいに、症状を改善してくれます。



今年は、私自身が仙台オープン病院に入院して、助けていただきました。結腸憩室炎穿通になり、緊急手術の適応も考慮して紹介入院になりました。幸いなことに、抗生剤の点滴と安静絶食で短期間で退院になりました。医療のありがたみが身に沁みました。それ以後、足を向けて寝られなくなりました。

## お知らせ

### 登録医の先生方へ

#### ◎ 業務時間の延長

地域医療連携室では業務時間を延長して診察・検査のご予約をお電話で対応いたしております。  
平日：18：00まで 土曜日：9：00～13：00まで

#### ◎ オープン出前講座

当院では登録医療機関を対象に、認定看護師や救急救命士による出前講座を開催しております。

診察・検査のご予約、オープン出前講座のお問い合わせは、  
地域医療連携室までお願いいたします。

仙台オープン病院 地域医療連携室 登録医専用ダイヤル TEL：022-252-5755

## 東北・みやぎ復興マラソン2018に参加して

平成30年10月14日(日)



2018年10月14日(日)に名取、岩沼、亘理で開催された東北・みやぎ復興マラソン2018

に救護サポートランナーとして参加してまいりました。当院からはランナーとして外科 小山 淳先生、HCU 船橋 伯之さん、健診課 加藤 貴子さんと初フルマラソンの私の4名が参加いたしました。幸い途中でランナー救護の要請もなく、全員が無事完走できました。また、当院からは救護スタッフとして35名の方々が早朝から夕方まで約13,000名の参加ランナーのバックアップを務めて下さいました。皆様、本当にご苦労様でした。暖かい応援もあり難うございました。

東北・みやぎ復興マラソンは昨年10月1日第1回が開催され、今年が第2回になります。2011年の3.11の津



波により東北の太平洋沿岸部は甚大な被害を受けました。復興が進む中「災害危険地域」として未来永劫「故郷」としては還ることでできない集落が数多く存在します。かつて集落(故郷)があったことを語り継ぎ、いつか賑わいを取り戻すために「Back to the hometown (BT)」として今回のマラソンコース沿いの給水・給食所のうち11カ所に「BTエイドステーション」が設けられていました。子供達からお年寄りまで笑顔でたくさんのハイタッチや声援をいただきました。様々な思いを感じ、廃校になった小学校(仙台市医師会報2017.3;No.631;p24-5)など昔の風景を思い出し、復興を願い、走りながら思わず涙が流れました。多くの方々に支えられた素晴らしい大会に参加させていただいたことに、改めて深謝いたします。

(文責：仙台オープン病院 副院長 野田 裕)



## 院 内 の 動 き

## 第7回オープンまつり開催！

平成30年10月20日(土)

去る10月20日(土)に、つなげよう防災の輪・広げよう元気と健康！をテーマに、「第7回オープンまつり」が開催されました。新救急センター棟が竣工して初めてのオープンまつりとなり、天候にも恵まれ約1,000人もの地域の方々にお越しいただきました。

防災関連では、仙台市消防局ヘリコプターと宮城県防災ヘリコプターの離発着訓練、はしご車展示、煙体験ハウス、警察車両展示、DMATコーナー等を行いました。今年のはしご車での救助訓練や、お子さん限定のはしご車搭乗体験も行いました。

健康関連では、臨床検査コーナー、臨床工学技士コーナー、ロコモチェック、3次元CTデモ、調剤体験、感染予防コーナー、食べて元気！、在宅ケアコーナー等を行いました。また、健康講座では土屋院長より「亜鉛ってこんなにすごい！」、進藤副院長より「がんと緩和ケア」と題してご講演をいただき、聴講者からは大変勉強になったとの感想をいただきました。

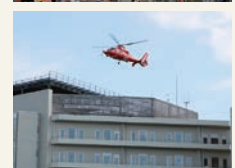
その他には、院内バックヤードツアー、アロマハンドマッサージ、看護師体験、キッズコーナー、はく製パンダ展示等を行い、またガブリくんやペッパーくんもおまつりを盛り上げてくれました。どのコーナーも普段見ることができない器械や体験を通じて、健康の大切さや災害に対する心構えを再認識していただきました。まつりの来場者アンケートでは、「自分の体を知るよい機会になった」「改めて健康のことについて考えるきっかけになった」等の感想をいただきました。



そして、毎年好評のブラック・ジャックセミナーも開催し、当院周辺の小中学校の子供達を対象に、手術縫合体験、内視鏡トレーニング体験、手術室見学、手術室での超音波メス体験等を行いました。子供達からは、「人の命を守る大切な仕事を経験できて嬉しかった」「将来、医療の道へ進みたいと強く思うことができた」等の感想をいただき、外科医の仕事や医療に関心を持っていただくよい機会になったようです。将来、多くの子供達が医師をはじめとする医療の道へ進んでくれれば幸いです。

最後に、オープンまつり開催にご協力いただきました協賛企業・関係諸団体の皆様をはじめ、企画段階からご尽力いただきました実行委員、ボランティアスタッフの皆様にご心より感謝を申し上げます。

(文責：法人事務局 畑中 幸子)



## 仙台オープン病院外来診療スケジュール

救急センターは24時間受け入れしております。

平成30年12月1日より

		月	火	水	木	金
消化管 肝胆膵 内科	消化管	小池良樹	原田喜博	嶋田奉広	大平哲也	山形拓
	肝胆膵	野田裕 (第1,3) 伊藤啓 楠瀬寛顕 (第2,4,5)	菅野良秀	枡かおり	越田真介 酒井利隆 (第2,4)	小川貴央
循環器内科	牛込亮一 野田一樹 (新患担当)	浪打成人 野田一樹 瀧井暢 (新患担当)	牛込亮一 (新患担当)	瀧井暢 砂村慎一郎 浪打成人 (新患担当)	砂村慎一郎 (新患担当)	
呼吸器内科	飯島秀弥	進藤百合子	飯島秀弥	担当医 (事前予約のみ)	進藤百合子	
消化器外科 一般外科	阿部友哉 佐藤龍一郎	岡田恭穂	土屋誉 小山淳	柿田徹也 矢澤貴	及川昌也	
心臓血管外科 呼吸器外科	吉田聖二郎 (午後1時~3時30分)	担当医	茂泉善政	吉田聖二郎 (午前9時~12時) 新田能郎 (午後1時~3時30分)	担当医	
総合診療科	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	
緩和ケア 入棟相談			土屋誉 進藤百合子			
化学療法科		東北大学病院 高橋雅信/西條憲 (第1,3,5) / (第2,4)		東北大学病院 小峰啓吾/高橋昌宏 (第1,3,5) / (第2,4)		
スキンケア外来 (予約制)			担当チーム (午後1時~)			

※乳腺外来は休診いたします。

受付時間 午前8時30分~午前11時

●検査・入院などのご予約について……………総合サポートセンター(地域医療連携室)

TEL 022-252-5755 (平日18:00まで、土曜日9:00~13:00まで)  
FAX 022-252-1126

※診察・検査につきましては事前に予約されている場合でも、当日の外来状況により待ち時間が発生することがございます。  
何卒、ご理解、ご了承願います。

●緊急な患者さんをご依頼の場合……………救急センター

TEL 022-252-0100 FAX 022-252-0264 (救急受付直通)

URL <http://www.openhp.or.jp> E-mail [renkei@openhp.or.jp](mailto:renkei@openhp.or.jp)

●編集委員 進藤 百合子、石井 洋寿、野口 雅子、鈴木 由季子、大原 麻子